

募集要項・応募用紙 入手方法

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ウェブサイト(www.smf.or.jp/kok/)よりダウンロードしてください。

- 郵送をご希望の場合は、送付先の郵便番号・住所・団体名・担当者氏名・電話番号を明記のうえ、
Eメール(kok@sonymusic.co.jp)にて、件名を「子ども音楽基金 書類郵送希望」としてご請求ください。

応募方法

Eメールでご応募ください。

- 作成した必要書類を全てPDF化して添付のうえ、kok@sonymusic.co.jp までお送りください。
- ファックス・お持ち込みによる応募は受け付けできません。
- Eメールでの応募が難しい場合は、作成した応募用紙・添付書類を印刷のうえ、ソニー音楽財団宛にご郵送ください。

応募締め切り 2022年8月1日(月)17:00必着

ご応募にあたり

- ご応募の前に、「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ウェブサイトにて、応募要項など詳細を必ずご確認ください。
- 一度応募された書類の差し替えはできません。
- 書類受付時や選考中に、必要に応じて当財団より電話・メールなどで問い合わせをする場合があります。
- 採択団体は、助成金額をはじめ団体名・代表者・所在地・活動内容を公表いたします。
また、広報活動にご協力いただく場合があります。
- 採択結果に関するお問い合わせにはお答えしかねます。

応募・お問い合わせ先

〒102-8353 東京都千代田区六番町4-5 SME六番町ビル 公益財団法人ソニー音楽財団 子ども音楽基金 係

Eメール: kok@sonymusic.co.jp ※お問い合わせはEメールのみで受け付けます。

「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」ウェブサイト

www.smf.or.jp/kok/

子ども音楽基金

検索



公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)について

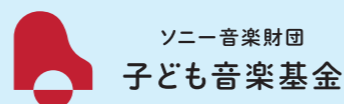
ソニー音楽財団は、今日まで、音楽、オペラ、舞踊等の普及向上を図るため、国際交流の促進、創造開発の活発化、人材の育成等に努め、もって我が国の文化の発展に寄与することを目的として活動を行ってまいりました。「子どもたちへの良質な音楽の提供」「誰もが気軽にクラシック音楽を楽しめる環境づくり」「若いアーティストの育成・支援」「子どもへの音楽を通じた教育活動に対する助成」などの企画・制作を主体とした運営を行い、上質で魅力あふれるクラシックを中心とした音楽を通じて、次世代を担う子どもたちの感性豊かな心をはぐむ事業を、35年以上にわたり行っております。

ウェブサイト: www.smf.or.jp



SDGsについて

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。「持続可能な世界」を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものです。



ソニー音楽財団 子ども音楽基金

第4回
(2023年度)
募集

募集期間:2022年7月1日[金]—8月1日[月]



感動する心を育てる —— ソニー音楽財団は、子どもの音楽活動を支援します。





ソニー音楽財団 子ども音楽基金

設立趣旨

公益財団法人ソニー音楽財団では、子どもたちが豊かな感性・すこやかに生きる力をはぐくむためには、音楽を通じた体験や活動が重要であると考えております。

先進国でも相対性貧困などに起因する教育格差が社会問題となるなか、地域・環境・経済状況などに左右されることなく音楽に触れることのできる社会であることを目指し、当財団は2019年(令和元年)に「ソニー音楽財団 子ども音楽基金」を設立し、これまでに合計38,050,143円(延べ68団体/新型コロナウイルス被害支援含む)の助成を行いました。

当基金では、子どもたちへの教育を目的とした音楽活動に取り組んでいる団体の活動を支援し、助成を行うことで、子どもたちが心豊かに暮らすことのできる環境づくりをサポートいたします。これはSDGs(持続可能な開発目標/Sustainable Development Goals)で掲げられた「2030年までに世界が達成すべき17の目標」のうちの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」に通じるものです。

当財団は、次世代のための教育支援の取り組みを積極的にいき、課題の解消に向けて寄与してまいります。

公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)

助成の目的

子どもたちの音楽を通じた体験や活動によって――

豊かな感性、創造性や好奇心をはぐくむ。

すこやかに生きる力をそだて、将来への意欲や関心を高める。

子どもの育成を地域社会から活性化させ、子どもの孤立を防ぐ。



対象となる団体・活動

- 日本全国の18歳未満の子どもを対象に、音楽*を通じた教育活動に取り組んでいる団体およびその活動。
- 法人格を有する団体。または、法人格を有しないが、活動するための体制が整っている団体およびその活動。(営利団体および営利性の高い活動を行っている団体の活動は対象になりません。)

※クラシック音楽およびそれに準ずるものを原則とします

助成金額

1団体につき、10万円～300万円/年度

- 活動内容や活動規模および申請額に基づき、助成金額を決定します。
- 助成対象となる経費など、詳細はウェブサイト(www.smf.or.jp/kok/)にてご確認ください。

助成対象期間

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

※原則として期間は1年間としますが、活動が複数年度にわたる場合は、継続して助成を行う場合があります。その場合は、年度毎に再度応募書類をご提出いただいたうえで、助成継続可否の審査を行います。

選考 書類選考の後、選考委員で構成された選考委員会の審査を経て、当財団理事会にて決定します。

選考委員 (五十音順)



阿部 彩

東京都立大学人文社会学部人間社会学科社会福祉学教室 教授
子ども・若者貧困研究センター長



菊川 穂

一般社団法人エル・システマジャパン 代表理事



志民 一成

文部科学省初等中等教育局教育課程課、文化庁参事官(芸術文化担当)付 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官



末富 芳

日本大学文理学部 教授



渡辺 元

公益財団法人助成財団センター 理事
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 客員教授

選考基準 以下に基づき審査を行います。

- 子どもへの音楽を通じた教育の促進に貢献する事業・活動であるか。
- 活動の目的が明確であり、妥当性があるか。
- 時宜にかなった活動内容であるか。
- 活動の組織体制・スケジュール・予算が適切であり実現可能なものか。
- 助成終了後においても活動を継続するための計画性・実現性があり、将来の発展が見込めるものか。

スケジュール

2022年7月

募集開始(応募期間 7月1日～8月1日)

8月

書類選考

9～10月

選考委員会による審査

12月

結果通知

2023年2月(予定)

採択団体 発表

4月

助成金支給・助成対象活動開始

2024年3月

報告書・アンケート提出

※スケジュールは変動する場合があります

第3回(2022年度)助成 採択団体一覧 (五十音順)

全15団体 助成総額：10,237,000円

団体名	活動名	活動地域
NPO法人オフィスリブスタイル	障がい児(未就学、小学生)を対象とした音楽療法教室	東京
特定非営利活動法人OnPal	入院中の子ども達に音楽授業やコンサートを届ける活動	福岡ほか
特定非営利活動法人キリンこども応援団	子ども食堂に通う子供たちがクラシック音楽にふれる日	大阪
社会福祉法人子供町	ミュージックボックス	埼玉
一般社団法人このとお	障害をもつ子どものための音楽療法室～より充実した支援のために～	和歌山
NPO法人さくら学園	音楽教室と訪問演奏	埼玉
特定非営利活動法人さっぽろこどもさぼーと	nobiの音楽会～たのしみかたそれぞれ～	北海道
さーくる縁	つながる縁 ふれあう心 コンサート	東京
城陽市少年少女合唱団	こどもたちといっしょにバロック音楽	京都
特定非営利活動法人シンコペーション	ムジカバンピーネ～音楽で豊かな未来を～	沖縄
多胎ファミリーコンサート	音楽を通じての多胎ファミリー支援	千葉
一般社団法人つなぐMima World Community	つなぐMimaクラシックコンサート	徳島
鶴岡バイオリンサークル	「子ども達の健全育成と地域貢献」を目指す、弦楽器のコミセンサークル活動	山形
西北ジュニアウインドプラス	西北ジュニアウインドプラス 活動費	青森
認定NPO法人ミュージック・シェアリング	障がいのある子どものための楽器指導支援プログラム2022	東京ほか